



(一財)自治体国際化協会理事長

岡本 保

## クレアの平成27年度の取り組み

世界の出来事や各国の情報はインターネット上に溢れ、今や海外の情報を容易に入手できる便利な時代になった。技術の進歩は世界を身近にしたが、単なる情報では海外での異文化への戸惑いや外国人との交流を経験することはできない。

世界を真に理解するためには、それを肌で感じること、経験することが重要であり、「百聞は一見にしかず」の言葉が本質を表しているのではないだろうか。海外に出て、様々な文化に触れ多くを学ぶことで、自国を相対化しグローバルな視点から物事を客観的に見ることができ国際人が育っていきと考える。

このため、クレアでは、平成27年度、姉妹都市交流などのアウトバウンドに係る支援を強化し、地域から海外に出て行く取り組みを支援することとしている。特に、将来の国際人の育成の観点から、子どもたちが世界に飛び出てその大きさを知る海外研修などを活性化させていきたいと考えている。

また、子どもたちは、JETプログラムのALTから、語学だけでなく、外国の社会・文化を知り、お互いの文化を尊重し理解することの大切さを学び、国際人となるための素養を身に付けていく。JET参加者は、子どもたちに世界を教え、海外への関心を高める重要な役割を担っている。小学校における英語教育実施の早期化も見据え、参加者の質の向上に取り組んでいきたい。

JETOBたちは皆、日本の子どもたちと交流したことや、日本での日々が彼らの人生に与えた影響を熱く語ってくれる。JETプログラムは、外国人青年を国際人へと育成し、様々な分野で活躍する人材を輩出している。

日本を理解し愛する彼らに、外国人の視点から日本の地域の魅力を発信してもらい、日本人が気付いてこなかった魅力を発見するとともに、増加を続ける訪日外国人旅行者の地域への誘客促進を図っていきたい。さらに、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックを控える中、彼らの日本国内での活躍の場を増やしていきたい。

27年度は、国際人の育成やJET参加者・終了者の活躍促進をはじめ、未来への投資に積極的に取り組む予算・事業とした。この想いが形になるように、67支部、7つの海外事務所という国内外のネットワークを活かしながら、事業を進めていきたい。クレアへの変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げたい。